

令和7年度都立文京高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「論理的思考を育てる」指導の充実。 ・「豊かな文学性を育てる」指導の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科内で学年の枠を越えた「論理的に読むこと・書くこと」指導に関する情報の交換、教材の共有。 ・読書ノート作成とその指導。 ・校内での「百人一首大会」の開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学、企業等主催のコンテスト等を吟味し、必要に応じて学年もしくは全校単位での参加をする。 ・「論理的思考」を伸ばす教材の開発と共有。
地歴公民	「社会的な見方・考え方」を育てる指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な資料の解釈を通じて、「社会的な見方・考え方」を養う。 ・互いの見方・考え方を表現し、評価し合う授業の重視。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料・教材の共有と連携 ・授業の手法を学び合う相互参観を実施
数学	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考をしていくのかという、物事の特徴や本質を捉える視点を重視した授業の実施 ・思考の進め方や方向性を重視した授業の実施 ・上記を満たすような教材・教具の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの視点・考え方のみならず、様々な視点で物事を捉え、様々な考え方を取り入れながら考察を深められるような授業の実施
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テストの問題分析会を実施 ・考察、推論したことや結論について発表するような授業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究の過程」を踏まえた授業の相互参観を実施 ・理科ならではの授業形態の実施
保健体育	「考え・伝える」「自主的」活動の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・体育における判別ノート学習（班ごとに、目標に沿った内容を計画して活動し、活動後に振り返って次時の目標設定をする学習）の実施。 ・保健における調査学習（各単元について調査したことを整理し、自己の考察を含めてレポートとしてまとめる学習）の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育では課題解決の過程を振り返ってたがいに考察を深めたり、改善・修正したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施。 ・保健では調査学習でまとめた内容を、スライドを作成してクラス全生徒へ伝える発表学習の実施。また、その評価を取り入れた授業の実施。
芸術	「表現力」「想像力」を培う学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・美術…想像力を培うために、アイデアを出す課題に比重を置き、スケジュール管理をさせる。 ・音楽…緊張感のある演奏で表現力を培うために、人前での発表の場を設定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の質だけに終始せず、言語活動を取り入れ、コミュニケーションを取りながら相互理解を図る。 ・他者の演奏を鑑賞し、表現の工夫や技術の相違を感じ取る。
外国語	4技能のバランスよい指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能をバランスよく指導する。 ・2、3年では英語コミュニケーションの科目にSWの時間を週1時間ほど設け、話す力と書く力の強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で夏季講習を実施する。1、2年に対しては、補習的内容のものとして発展的内容の2種類を準備する。 ・3年に対しては、生徒の進路実現を支援する内容の講座を多数設ける。
家庭	「自立」と「社会人としての責任」を目指した指導内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・人の一生に関わる事柄について理解し、各自の生活の中での問題点の発見、解決策の考察。 ・各分野について相互に関連付けて学び、自ら情報を取捨選択し課題解決に取り組むよう展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「SDGs」（持続可能な開発目標）と各領域とを関連付けながら自身ができる社会参加の発見。 ・自分の考えをまとめ、発表することによる問題解決方法共有、および、視野の拡大。
情報	情報のデジタル化とコミュニケーション能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・情報のデジタル化技術を理解し、情報デザインの考え方を活かしたコミュニケーション方法を学び、実践する。 ・情報Iでは表現の工夫の手法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなデジタル技術を使いながら、効果的な表現方法を選択し、活用できるような、発展的実習を取り入れ学びを深める。